

STAGE+を楽しむ(322)(HP 収載)
—チャイコフスキーのピアノ協奏曲第 1 番—

1. 始めに

前報(321)に引き続き、STAGE+のユジャ・ワのチャイコフスキーのピアノ協奏曲の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、前報(321)に引き続きユジャ・ワのチャイコフスキーのピアノ協奏曲第 1 番を選びました。

ユジャ・ワンがチャイコフスキーのピアノ協奏曲第 1 番を弾き振り

カーネギーホール 2025 年

収録日: 2025 年 10 月 7 日

カーネギーホール主催の「ナショナル・ユースオーケストラ USA (NYO-USA)」は全米から集まった優れた若手演奏家たちによる特別な団体です。本映像のメンバーは同団の卒業生たちで、才能あふれる彼らを導くのはダニエル・ハーディング。プログラムにはバーンスタインの《ウェスト・サイド・ストーリー》の〈シンフォニック・ダンス〉にストラヴィンスキー《火の鳥》組曲という情熱的なプログラムが並びます。さらに、チャイコフスキーのピアノ協奏曲ではユジャ・ワンが登場し、弾き振りを披露。オーケストラを牽引する指揮と華麗なピアニズムにご注目ください。

ソリスト:

ユジャ・ワン (ピアノ)

演奏:

NYO-USA オールスターズ

指揮:

ダニエル・ハーディング

曲目:

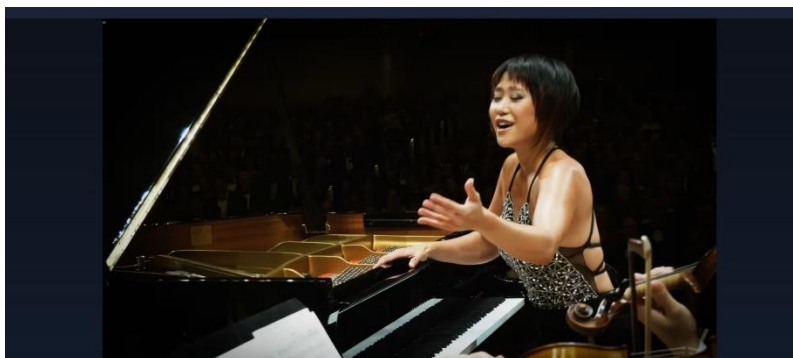
レナード・バーンスタイン

《ウェスト・サイド・ストーリー》からシンフォニック・ダンス (抜粋)

ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー ピアノ協奏曲第 1 番変ロ短調 op. 23

ユジャ・ワン(ピアノ)

イーゴリ・ストラヴィンスキー バレエ組曲《火の鳥》(1919 年版)



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への **Crystal EpY-G** の接続を継続し、PC の仮想アース **Crystal E Jtune** を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に **OPT ISO BOX** を適用し、**OPT ISO BOX** の AC アダプターの DC ケーブルに **FX Audio** の **Petit Susie Solid State** を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

今回、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続は、**LAN iPurifier Pro** の交換後に元に戻しています。

今回は、PC の受信からクロック入力の修理済の **Brooklyn DAC+** に送り出しています。

また、PC と **Brooklyn DAC+** の間の介在は、**iPurifier USB** からインフラノイズの **USB** アキュライザーに交換しています。クロック入力には **ABS-7777** を適用しています。

バーンスタインの《ウェスト・サイド・ストーリー》のシンフォニック・ダンスは、いかにもアメリカの映画音楽といった勢いのある曲です。

チャイコフスキーのピアノ協奏曲第 1 番の弾き振りというのは初めてで、ユジャ・ワンはオーケストラのパートでは立ち上がって指揮をします。ユジャ・ワンのピアノはいつものとおり華麗なテクニックを見せつけるように乗りのよい演奏です。

ストラヴィンスキーのバレエ組曲《火の鳥》は、前衛的なバレエ音楽の攻撃的な演奏でユジャ・ワンもピアノ担当で参加しています。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しま

したようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+ に送り出し、PC と Brooklyn DAC+ の間には USB アキュライザーに交換した結果、映画音楽、チャイコフスキー、前衛的なバレエ音楽のそれぞれの表情を表現できていました。

以上